

地域生活サポートセンターらいぶ 放課後等デイサービス自己評価表

		チェック項目	はい	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		
	2	職員の配置数は適切であるか	○		
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか		○	建物の構造上、完全なバリアフリー化はできておらず、必要に応じた配慮が必要です。
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか		○	人事考課制度に基づく半期ごとの職員面談を実施しています。
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		今年度から実施。アンケート結果の集計から課題の抽出をしています。
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		今年度から法人ホームページに掲載予定です。
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○		第三者評価を実施しています。
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		2か月に一度の事業所内研修に加えて、定期的に法人内研修を実施しています。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		原則面談を通して個別支援計画の交付をしています。
	10	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		事業所共通(通所・居宅)のアセスメントシートに基づき、課題分析をしています。
	11	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		年間計画作成時に小集団の活動プログラム、個別支援計画作成時に個別の活動プログラムを作成しています。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		定期的にプログラムの評価をしています。
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○		個人の特性に配慮し、日課を設定しています。
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○		計画作成ケース会議、モニタリング会議に加えて毎月実施の職員会議でのケース検討を実施しています。
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎日必ず支援前打ち合わせで、前日の引継ぎと予定の確認をしています。必要に応じて定例会議の議題に上げて検討しています。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		個人記録は毎日必ず児童発達管理責任者が確認し、必要に応じて具体的な支援内容の確認をしています。

	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○		常勤、非常勤、その他スタッフで半年に一度モニタリング会議を実施しています。
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせさせて支援を行っているか	○		職員各自にガイドラインを配布し、全体で読み合わせをしています。
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		児童発達管理責任者の他、必要に応じて指導員数名で参画しています。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っているか	○		学校との連携では、学校主催のケース会議や情報交換の懇談を実施しています。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○	医療的ケア児の対応はしていません。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○	必要に応じて連絡を取れる体制を取っています。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○	障害福祉サービス移行に向けて、実習先への情報提供など、準備を進めているところです。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか		○	
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか		○	児童同士が交流する機会はありませんが、事業所校区の児童館指導員との情報交換をしています。将来的には交流事業等を検討していきたいと思っています。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか		○	自立支援協議会の参加や専門部会の研修会に参加しています。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか		○	毎日の引継ぎに加え、定期的な保護者面談を実施し、共通理解を図っています。
保護者への説明責任等	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか		○	必要に応じて個別支援計画に基づく保護者支援を実施しています。
	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか		○	契約時以外で説明をする機会が無いので、今後、定期の保護者面談時に説明する機会を設けます。
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか		○	悩みに応じて相談支援事業所や関係機関と連携を図れる体制を整えています。
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	保護者参加行事を通して、連携が図れる機会を作っています。

	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		ご意見、ご要望には迅速な対応を心がけています。
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		毎月の予約票の他、事業所発行のお便りや案内文書で情報発信をしています。
	35	個人情報に十分注意しているか	○		個人情報の使用は、必要に応じてその都度同意を得ています。
	36	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○		法人内に地域貢献を目指した組織があり、地域に向けたお祭りなどを企画しています。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○		各種マニュアルは、職員への周知はできていますが、保護者への周知はできていません。今後保護者へは、契約時や個別支援計画書交付面談時に説明する機会を設けます。
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年に二回、「地震から起こる火災」を想定した避難訓練を実施しています。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○		二か月に1度、虐待防止員会を実施し、ヒヤリハットの検証や困難ケース事例の検討をしています。
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○		現在まで該当事例はありませんが、身体拘束をせざるを得ない状況になった場合、個別支援計画に記載し同意を得ることとしています。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○		利用契約時、食物アレルギー等の確認をしています。
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○		ヒヤリハット報告書は検証後5年間は事業所保管とし、いつでも閲覧できるようにしています。